

文化財センター通信
【かぎぐるま】

風車 第 13 号

平成17年 8月 9日 発行



紀州の歴史と文化の風

財団法人 和歌山県文化財センター

今年五く六月に和歌山市西浜において、道路拡幅工事に伴う県指定史跡水軒堤防の発掘調査を実施しました。

＝江戸時代の精緻な石積み堤防見つかる＝

和歌山県の防災史上において
国指定史跡広村堤防(広川町)に
並ぶ貴重な土木遺産の発見!!

県指定史跡
水軒堤防
発掘調査
特集!



水軒堤防発掘現場に作家神坂次郎氏
来訪する(小賀直樹氏撮影)

調査の結果、西側(海側)の石積みは砂岩(和泉砂岩)を積んで、東側(陸側)の石積みは砂岩と結晶片岩(青石・緑泥片岩)を交互に積んで構築された江戸時代の堤防を検出することができました。特に、石積み西側では、丁寧に加工された砂岩の石材を精緻に積み上げて構築されている状況を確認することができました。



石積み堤防 西側(海側) 北西から

今回の『風車』は水軒堤防の発掘調査特集として、発見された堤防について紹介したいと思います。

－ 第13号の主な内容 －

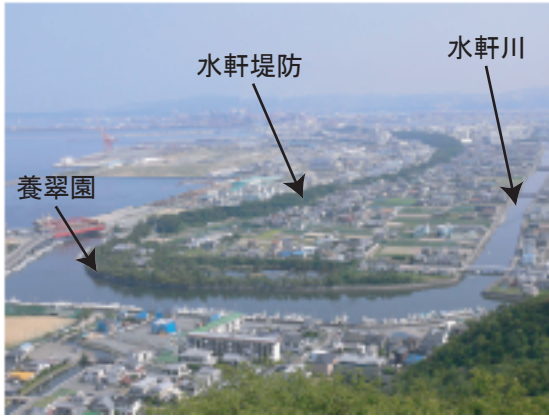
1. 県指定史跡水軒堤防発掘調査特集!
2. 現場速報
3. コラム【考古学の散歩道】
「野上谷の地域性」
4. 和歌山文化財クロスワード③
の解答
5. 文化財センター速報展
「紀州の歩み」案内

水軒堤防とは？

昭和三四年に県の史跡に指定された防潮・防波堤防で、南北を流れる水軒川と和歌山南港（旧水軒浜）との間の砂州上に築かれています。

昭和前半の記録によると、

初代紀州藩主徳川頼宣の時代、朝比奈段右衛門（隠居名水軒）が寛永年間（一六二四～一六四四年）に約一三年かけて築造したもので、防波堤の高さは三～六間（五・四～十・八m）・全長は九〇余間（一・六二km）で、表築石は和歌山城改修の和泉砂岩、裏築石は雑賀崎石を使用している」と記されています。



水軒堤防遠景 南から

現在には砂で覆われていますが、掘り進めると石積みみの堤防が出現しました。石積み上面は標高約三・七mで、そこから3mの深さまで検出されましたが、さらに石積みは下に続いています。時期を示す遺物は出土していませんが、石積みの特徴から江戸時代に築造されたと考えています。

石積み西側（海側）の特徴は、

側面をきれいに加工した砂岩の切石によって隙間が無く、粗面に精緻に積み重ねられており、「布積み」と呼ばれる水平に石の目地が通る積み方をしています。

発掘調査で見つかったものは、

現在には砂で覆われていますが、掘り進めると石積みみの堤防が出現しました。石積み上面は標高約三・七mで、そこから3mの深さまで検出されましたが、さらに石積みは下に続いています。時期を示す遺物は出土していませんが、石積みの特徴から江戸時代に築造されたと考えています。

石積み東側（陸側）の特徴は、

最上段に砂岩を二列積み、中央部砂岩列より上方と下方は結晶片岩を積みで構築しています。東側の砂岩は、西側に比べて加工が粗い石材を使用しています。石積みより東側の土層は黄褐色粘土層を含んだ人工的な堆積で、堤防東側は盛土によって構築されていたことがわかりました。

石積み上面の特徴は、

西側より大ぶりの砂岩の切石が用いられています。一部に石材を切り出す際に施された矢穴がみられます。

（仲原知之）



水軒堤防位置図

0 1km
(1:50000)

現場速報

埋蔵文化財課

- 太田・黒田遺跡（和歌山市）：8月下旬から本発掘調査開始、弥生時代の集落が検出できるか??
- 岩橋千塚古墳群（和歌山市）：9月から大日山35号墳西造出ほかの発掘と測量調査、埴輪出てくる!
- 旧吉備中学校校庭遺跡（吉備町）：9月から本発掘調査開始、古墳時代初頭の集落検出の予感。
- 楠見遺跡（和歌山市）：8月下旬から2カ年目の整理作業始まる、今年度報告書刊行、中世が主体。
- 徳蔵地区遺跡（みなべ町）：9月から古川改修工事分の整理作業開始予定、5世紀後半の住居など。
- 高田土居城跡・大塚遺跡（みなべ町）：県道上富田南部線工事分、4月から整理作業継続中。
- 京奈和自動車道関連遺跡（橋本市）：柏原遺跡・北馬場遺跡・垂井女房ケ坪遺跡など整理作業続く。
- 野上中南遺跡（海南市）：間もなく整理作業終了、報告書刊行へ、弥生と鎌倉時代の集落遺跡。

文化財建造物課

- 重要文化財旧中筋家住宅（和歌山市）：江戸時代の住宅の保存修理設計監理業務を継続中。
- 重要文化財福勝寺本堂（海南市）：室町時代中期の本堂など保存修理設計監理業務を継続中。
- 史跡和歌山城御橋廊下（和歌山市）：史跡整備に伴う御橋廊下の復元工事監理業務。

コラム【考古学の散歩道】

野上谷の地域性

和歌山市岩橋にある整理事務所では、野上中南遺跡で出土した弥生土器や石器、鎌倉時代の瓦器や土師皿といった出土遺物の整理作業を行っています。野上中南遺跡は貴志川水系に所在する遺跡で、海南市東部から野上町にまたがる「野上谷」に位置しています。遺跡西部には弥生時代中期前半の集落が広がっています。松菊里型と呼称される、中央に土坑と二つの柱穴のある竪穴住居からは、多数の紀伊型甕が出土しました。「松菊里型住居」は、朝鮮半島の松菊里遺跡の住居跡を標識として設定されたもので、愛知県を東限とする西日本各地で確認されています。大阪府から紀ノ川下流域にかけての地域ではあまりみられません。海南市や御坊市といった地域では比較的多数確認されています。「紀伊型甕」は体部を工具で削る特徴的な製作技法を用いた甕なのですが、紀ノ川下流域の代表的な遺跡である太田・黒田遺跡の紀伊型甕と比べると、工具で削った跡がわかりづらく、同一の技法を用いたものであっても、やや異なる雰囲気を感じています。松菊里型住居や紀伊型甕といった特徴的な遺構・遺物を中心に現在整理作業が進んでおり、今秋には野上谷の地域性を探る学術的な成果品である「発掘調査報告書」が出来る予定です。考古学を専門とする人以外あまり読まれる方が多くないのですが、ぜひ一度、公共の図書館などで御覧になってみてください。（丹野 拓）



石積み堤防 西側（海側） 西から



石積み堤防 東側（陸側） 東から

1	コ	2	ク	3	ブ	ン	4	ジ	5	イ	6	ネ
7	ウ	ガ	ン	8	ラ	ク						ゴ
9	ヤ	タ	ガ	10	ラ	ス			11	キ		ロ
12	カ	チ		ク			13	ガ	ン			グ
	イ		14	シ	ヨ	15	イ	ン				ミ
16	ド	17	キ		18	ウ	ケ	ゴ	19	シ		
20	ウ	サ	21	ギ		22	ス	ウ	ハ	23	イ	
		24	キ	シ	モ		25	ジ	イ	ン		

前号・和歌山文化財クロスワード③の解答

【解答 縦のカギ】

1 高野街道 2 盟神探湯 3 文雅 4 焦らす
6 根来組 10 洛陽 11 金 13 元興寺 15 生簀
17 后 19 支配 21 魏志 23 印

【解答 横のカギ】

1 国分寺 5 稲 7 右岸 8 樂 9 八咫鳥
11 キロ 12 徒歩 13 玩具 14 書院 16 土器
18 受け腰 20 兎 22 崇拝 24 鬼子母（神）
25 寺院

【解説】

縦2：古代の神明裁判の1つ。「神に盟約し湯を探る」という文字のとおり熱湯に手を入れ、皮膚がただれるか否かで正邪を判定する。

縦11：百数十個のガラス製小玉とともに出土しており、首飾りの親玉と考えられている。

縦23：一辺4.5cmほどの印面に、篆書で「牟婁郡印」と鋳出されている。重要文化財に指定。

横8：赤樂と黒樂があり、江戸時代後期に和歌山城内や別邸で茶碗を中心に多数作られている。

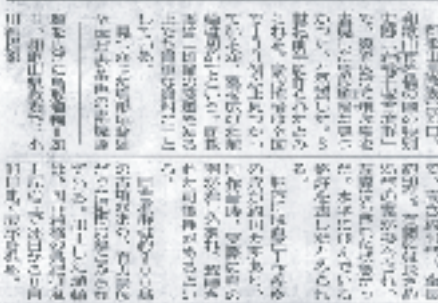
第15回和歌山県文化財センター速報展
 『紀州の歩み』 in 県立紀伊風土記の丘

現在、好評開催中！！

当センターが昨年度実施した発掘調査や整理作業、文化財建造物の保存修理事業の成果を県立紀伊風土記の丘資料館で展示しています。



徳蔵地区遺跡出土溶解炉



2005年7月21日付け朝日新聞1面より
 (同時展示：日本初の飛んでる鳥形埴輪)

第I部・II部では、弥生時代の住居やお墓が見つかった柏原遺跡(橋本市)や野上中南遺跡(海南市)、中世の建物等が見つかった根来寺坊院跡(岩出町)、縄文時代の集落や古墳時代の住居・中世城郭の堀が見つかった徳蔵地区遺跡・高田土居城跡(みなべ町)等から出土した遺物を展示しています。特に、徳蔵地区遺跡で出土した井戸枠に転用された

飛んでる埴輪出土 和歌山

溶解炉(金属を溶かす炉)は、注目すべき遺物です。発掘調査でこのような完全な形状を保って出土したのは全国的に例のないものです。

第III部では、解体修理を開始した重要文化財福勝寺本堂(海南市)の瓦類や縁板・天蓋等を展示し、旧中筋家住宅(和歌山市)の保存修理事業における修復プロセスをパネルで紹介しています。

同時に岩橋千塚古墳群の大日山35号墳から出土した鳥形埴輪を含む埴輪も展示されていますので、みなさん、是非足を運んでみてください。



展示室の風景

期間：2005年7月2日(土)～9月11日(日)
 会場：和歌山県立紀伊風土記の丘資料館
 開館時間：9：00～16：30
 休館日：毎週月曜日

第2回速報展関連講座

9月10日(土)13：30～15：00

埋蔵文化財課 主任 佐伯和也
 「徳蔵地区遺跡の铸造遺構」
 文化財建造物課 副主査 多井忠嗣
 「福勝寺・修験の行所と中世仏堂」

同時展示

”日本初飛んでる鳥形埴輪”ほか
 岩橋千塚古墳群の大日山35号墳出土埴輪
 (埴輪は7月26日(火)～9月19日(祝)展示)

風車 第13号

平成17年8月9日 発行
 (財)和歌山県文化財センター
 〒640-8404

和歌山市湊571-1
 Tel：073(433)3843
 Fax：073(425)4595
 e-mail

：maizou-1@wabunse.or.jp

《編集後記》従来の横書から縦書へと気分一新、新たな『風車』に生まれ変わりました。自分自身も心機一転頑張りたいものです。(仲原)